



種高魂

学校PR誌 No.4

平成30年3月16日 発行

～明るく生き生きと活力に満ちた種市高校～

光る

創造力豊かに
キラリと光る

育てる

あたたかく
生徒を育てる

応える

すべてのニーズに
しっかり応える

○おめでとう！そして幸あれ！～平成29年度卒業式～○

3月1日（木）本校体育館において平成29年度卒業式が挙行され、来賓、保護者、教職員、在校生が見守る中、80名（普通科50名、海洋開発科30名）の卒業生が、遠藤校長より卒業証書を授与されました。式辞の中で校長は、「心が変われば行動が変わる 行動が変われば習慣が変わる 習慣が変われば人格が変わる 人格が変われば運命が変わる」と述べ、卒業生を激励しました。その後、水上信宏洋野町長、磯崎元勝PTA会長、日當博治同窓会長より祝辞が述べられると、在校生を代表して生徒会長の中塚康介さん（海洋開発科2年）が送辞を述べ、卒業生へエールを送りました。答辞に立った卒業生代表の下田大輔さん（普通科3年）は、「自分の力で『自律』し、これまで自分たちがもってきたものに対する、言葉にできなかった『ありがとう』を、違った形で少しずつ返していきたい」と決意を述べていました。



海洋開発科 卒業生表彰

- 専門高等学校御下賜金記念優良卒業生 磯崎元晶さん
- 日本潜水協会会長賞 新山洸大さん
- 岩手県産業教育振興会会長賞 堀野景さん
- 東日本高等学校土木教育研究会会長賞 高田峻平さん
- 全国工業高等学校長協会ジュニアマイスター顕彰
- ジュニアマイスター特別表彰認定 11名
- ジュニアマイスターゴールド認定 17名
- ジュニアマイスターシルバー認定 10名

○自分の知らない日本に出会う～2学年修学旅行～○

普通科の修学旅行は12月5日（火）から9日（土）の4泊5日の行程で関西方面で実施されました。清水寺や薬師寺、法隆寺など京都や奈良の名所を見学し、歴史や文化について学び、自主研修では自分たちが事前に立てたプランをもとに京都市内を回り、知識を深めました。4日目にはUSJ（大阪市）を訪れ、楽しい思い出をつくりました。一方、海洋開発科は12月6日（水）から9日（土）の3泊4日の行程で沖縄での修学旅行に参加しました。美ら海水族館を見学したほか、ダイビング研修ではインストラクターの指導のもと、日頃の実習成果を発揮しました。



○いわてユネスコ活動奨励賞～津波解析モデル出前授業～○

本校海洋開発科3年課題研究班の研究テーマ『津波解析モデル出前授業』が、岩手県ユネスコ協会連盟より、『いわてユネスコ活動奨励賞』を受賞しました。11月24日（金）には本校校長室にて授賞式が執り行われ、岩手県ユネスコ協会連盟事務局長の佐々木嘉直氏より、出前授業を通し子どもたちの防災教育に貢献してきたことを讃えられました。今年度この研究班には、3年海洋開発科の磯崎元晶さん、上野裕輔さん、大沢葵さん、北野澤夢斗さん、橋本凌さん、真井翔子さん、山道颯花さんの7名が所属し、津波解析モデルをテーマに研究を行い、洋野町や階上町、八戸市内の小中学校で、津波の怖さや避難の大切さを伝える出前授業を行ってきました。



○SOLTを発信！～東京大学 海洋教育サミット～○

2月4日（日）に東京大学安田講堂にて第5回全国海洋教育サミットが開かれ、本校SOLT（海洋リテラシー研究会）の、河内夢奈（普通科2年）、藏谷大志（同）、林下佳南（同）、向井遼人（海洋開発科1年）の4名がポスターセッションを行いました。今年度の活動報告として2件のポスター発表を行った生徒は、全国の高中生や一般の参加者の方々と交流し、学びを深めていました。SOLTは、海について学ぶことを目的に始まった研究会で、東京大学よりアドバイスを頂きながら、海について学んだり、英語で外部に発信する活動を行っています。今年度は、「海の記憶の伝承」をテーマに、対話インタビューを通して人の記憶を記録し、映像アーカイブに残す取り組みを行いました。お話を伺ったのは、庭静子さん（食の匠）、磯崎元晶さん（本校OB・現PTA会長）、庭瀬繁則さん（本校警備員）、根井理帆さん（本校職員）の4名で、話し手と聞き手の表情が分かるよう2台のカメラを設置してインタビューの様子を撮影し、編集を行いました。SOLTでは、地域の海に関わる人々の思いや記憶を記録した映像として、完成した作品を後世へ伝承していきたいと考えています。



○食の交流会○

2月16日（金）本校調理室にて「たねいち・食の交流会」が行われました。この交流会は、種市に伝わる伝統料理を学ぶ目的で開かれ、2年普通科A組（24名）が、食の匠の方々から、ホヤ飯、けんちん汁、鮭の揚げ漬、昆布サラダ、リンゴ寒天の作り方を教わりました。調理後は、自分たちが作った料理を囲み、楽しく交流しました。



○3年生と語る会○

進路に向けた取り組みや実体験を発表し、次年度の進路活動に役立ててもらおうと、3年生が1月15日（月）と22日（月）に「3年生と語る会」を開きました。岩手県立大学ソフトウェア情報学部合格した上村巧弥さん（普通科3年）は、「時間と命は同じ。時間は大切に使ってほしい」と後輩にメッセージを送りました。

